

徳重・名古屋芸大駅周辺 まちづくり概略計画



平成24年3月

徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり勉強会

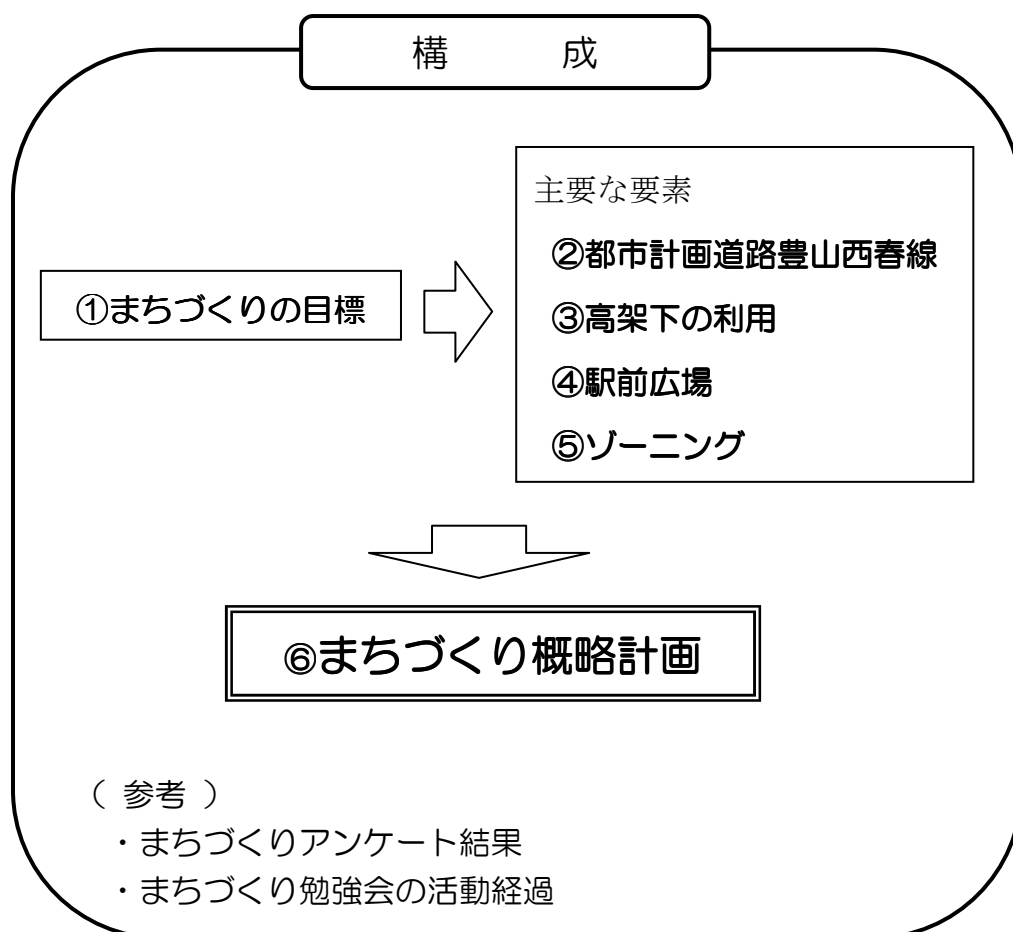
まちづくり概略計画とは

平成21年度から平成23年度の3年間に「徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり勉強会」では、鉄道高架化を前提にしたまちづくりについて様々な意見を交換してきました。

これまでに勉強会で意見交換してきた内容を、今後のまちづくりへ活かしていくために「まちづくり概略計画」としてとりまとめました。

まちづくり概略計画の構成

まちづくり概略計画では、まちづくり勉強会で設定した目標を踏まえ、これまでに検討したまちづくりの主要な要素を整理してまとめています。



①まちづくりの目標

将来像

ひとを大切にする、安全・安心なまち

文化のにおいを感じるまち

ひとが集まる、活気のあるまち

まちづくりの目標	具体的な方法
回遊ができ、歩きやすいまち	・自転車道の設置 ・街灯の整備 ・余裕を持った道路の整備
景観のよいまち	・電線の地中化 ・五条川堤防に桜と紅葉を植える ・景観を楽しむためのポケットパークの整備
商業業務施設が充実したまち	・（芸大生等の若い人が）寄り道ができる施設の設置 ・B級グルメの屋台村 ・スポーツトレーニング施設 ・医療センター ・ミニ図書館
文化・芸術が感じられるまち	・アートエリアロード（文化を強調） ・学生との交流ができる場所 ・市民コンサートホール ・学園都市、学生が楽しめる場所 ・小劇場
水と親しめるまち	・五条川沿いの歩道を整備し、憩いの場に
駅や駅周辺の活性化	・人が集まる駅前の整備 ・駅施設の利便性を高める ・西春駅より大きな駅 ・多目的広場

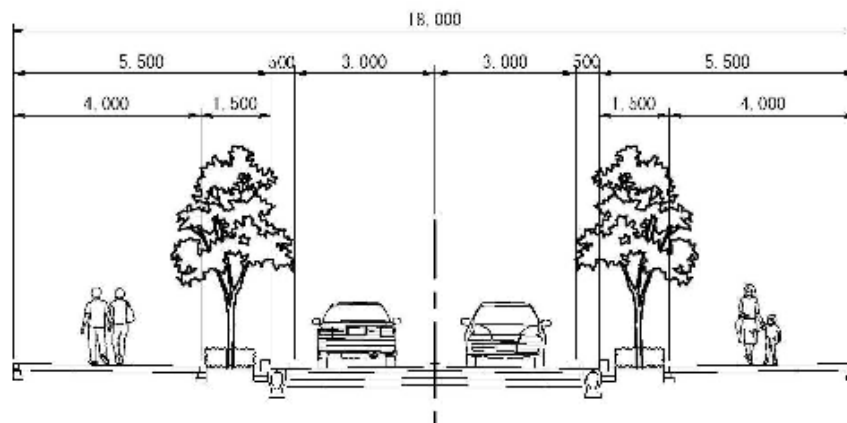
②都市計画道路豊山西春線

道路の機能や施設に着目し、3班で意見を交換しました。ひとつの案にまとめることはできなかったため、各班の意見を整理しました。

都市計画道路豊山西春線の機能の整理

項目	1班	2班	3班	備考
路肩 (0.5m以上)	○	○	×	1班 車は停車させない。
停車帯 (1.5m)	×	×	○	3班 宅配便の駐停車に必要な 停車帯をつくるなら自転車道が必要
歩道 (3.5m以上)	×	○	×	1班 マナーがよければ自転車歩行者道でよい。
自転車歩行者道 (4m以上)	○	×	○	雨の日を考えると広いほうが良い 芸大生（自転車、歩行者）多い
自転車道 (2m以上)	×	○	△	2班 安全・安心な散歩道のような道路 自転車道は、一方通行 3班 自転車道部分は着色舗装で明確化
路上施設帯 (0.5m)	×	×	×	1班 緑のあるまち
植樹帯 (標準 1.5m)	○	○	○	子どもの飛び出しが減る 3班 うるおいのためにも必要
ベンチ等の設置の ための幅員	△		△	1班 バス停とセットで考える。 2班 モニュメントいらない 3班 駅の付近だけでもいいので必要

とりまとめイメージ



③高架下の利用

高架下の利用には、いろいろな可能性があることが確認できました。

駅の利便性を高めるために必要な施設	駐輪場、駐車場
駅周辺のにぎわいのための施設	商業施設（喫茶店、居酒屋、コンビニ）
地域の特色を演出するための施設	展示スペース
人が集まるところに必要な施設	地域のコミュニティ施設 イベントスペース、防災倉庫等の防災施設
その他	保育施設、交番、医療施設、通路

また、明るいイメージ、懐かしいイメージにしたいという意見や、安全安心に配慮した高架下利用が望まれるといった意見もありました。

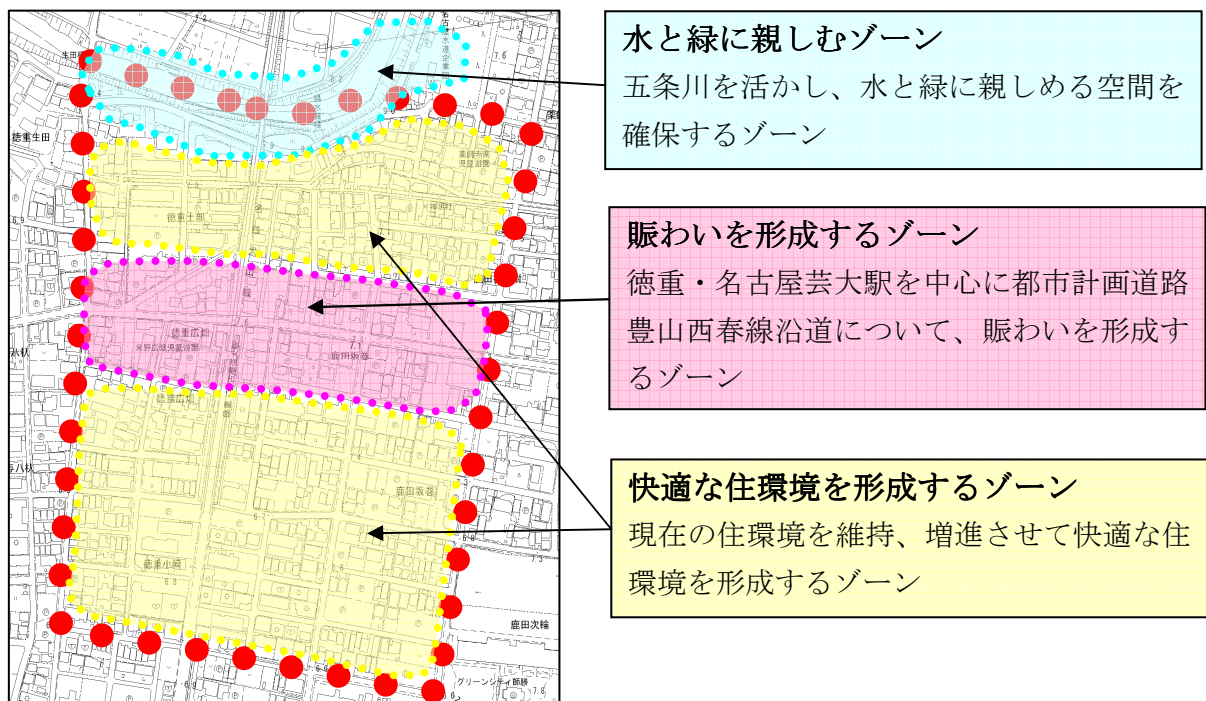
鉄道高架下の利用例



④駅前広場

駅前広場については、自動車用のロータリーを設置するだけでなく、自転車や歩行者、お年寄りから子どもまで、また、どの方向からも使いやすいように配慮した計画にする必要があります。

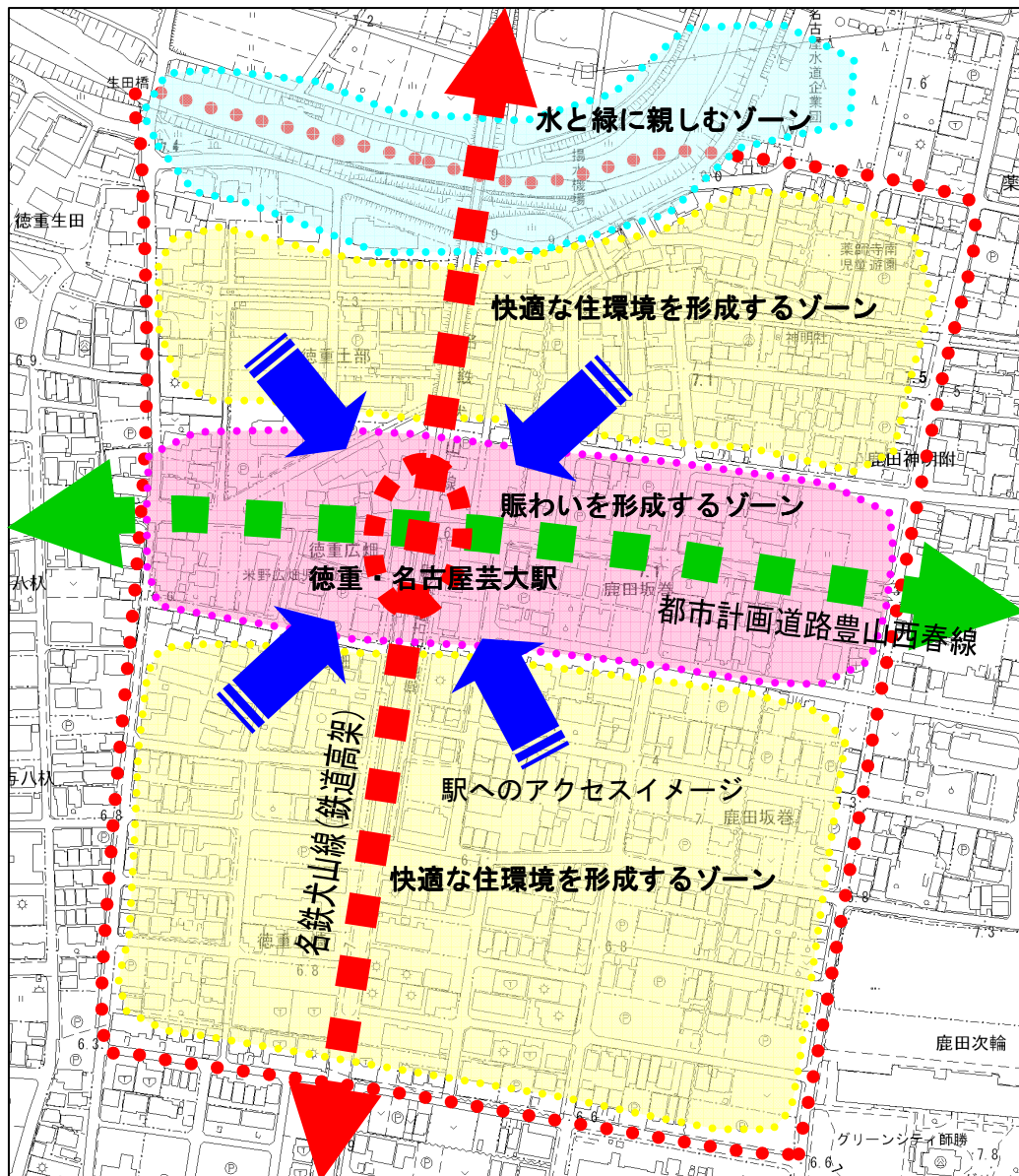
⑤ゾーニング



⑥まちづくり概略計画

将来像

ひとを大切にする、安全・安心なまち
文化のにおいを感じるまち
ひとが集まる、活気のあるまち



鉄道高架下の利用には、駅の利便性を高める施設や賑わいのための施設などいろいろな施設が望めます。

(参考) まちづくりアンケート結果

■アンケートの実施概要

実施期間 平成22年1月8日（発送）～平成22年1月22日（投函期限）

配布票数と回収票数

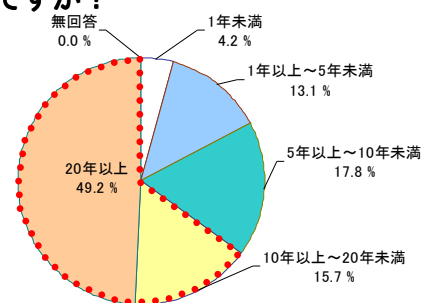
配布票数	回収票数	回収率
500	191	38.2%

■アンケートの主な結果

(設問) あなたはこの地区にお住まいになってどれくらいですか？

(結果)

	人	%
1年未満	8	4.2
1年以上～5年未満	25	13.1
5年以上～10年未満	34	17.8
10年以上～20年未満	30	15.7
20年以上	94	49.2
無回答	0	0.0
合計	191	100.0

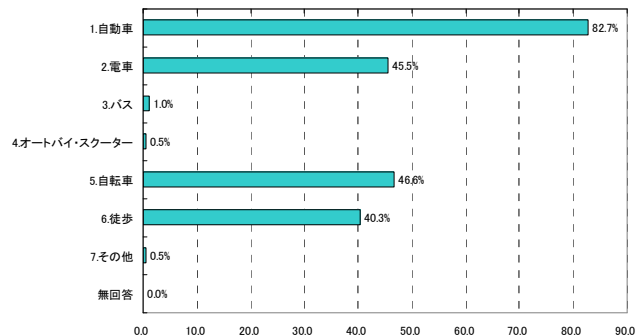


(設問) 日常生活において、あなたの主な移動手段は何ですか？（複数回答可）

(結果)

	人	%
1.自動車	158	82.7
2.電車	87	45.5
3.バス	2	1.0
4.オートバイ・スクーター	1	0.5
5.自転車	89	46.6
6.徒歩	77	40.3
7.その他	1	0.5
無回答	0	0.0
合計	415	217

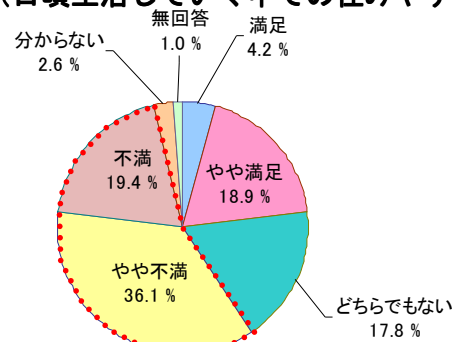
※合計は複数回答を含む



(設問) あなたは、徳重・名古屋芸大駅周辺の住環境（日頃生活していく中での住みやすさ）について、どのように感じていますか？

(結果)

	人	%
満足	8	4.2
やや満足	36	18.9
どちらでもない	34	17.8
やや不満	69	36.1
不満	37	19.4
分からない	5	2.6
無回答	2	1.0
合計	191	100.0



(設問) あなたは徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりを行うことで、どんなまちになればよいと思いますか？

(結果)

回遊ができる、歩きやすいまち	71.2%
景観の良いまち	48.2%
商業施設が充実したまち	34.6%

(設問) あなたはまちづくり構想の主な事業の必要性について、どのように感じますか？

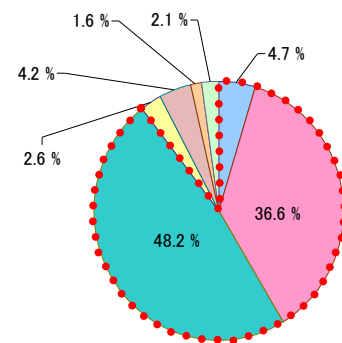
(結果)

まちづくり構想の主な事業の必要性について どのように感じますか	必要	どちらかといえ ば必要
徳重・名古屋芸大駅周辺の整備【鉄道の高架化、駅前広場の設置、駐輪場の設置等】について	61.2%	20.9%
市街地を東西に結ぶ幹線道路のスムーズな移動を促進する整備【幹線道路の拡幅、右折帯や歩道の設置等】について	64.9%	24.6%
安全な生活道路（幹線道路を除く）の整備【狭い道路の改善、用水路等で分断された不連続な道路の改善、一方通行の解消、用水路の暗渠化等】について	56.0%	25.6%

(設問) まちづくりを進めていく上で住民と行政の役割分担についてどのように思いますか？

(結果)

	人	%
住民が主体となり行政がそれを支援すべきである	9	4.7
行政と住民が一緒になって進めるべきである(住民協働)	70	36.6
住民の声を聞き行政が主体で進めるべきである	92	48.2
行政主体で進めるべきである	5	2.6
現状に問題点はなく、まちづくりを進める必要はない	8	4.2
その他	3	1.6
無回答	4	2.1
合計	191	100.0



凡例

■ 住民が主体となり行政がそれを支援すべきである	■ 住民の声を聞き行政が主体で進めるべきである	■ 現状に問題点はなく、まちづくりを進める必要はない
■ 行政と住民が一緒になって進めるべきである(住民協働)	■ 行政主体で進めるべきである	■ その他
		■ 無回答

(参考) まちづくり勉強会の活動経過

回数	開催日	勉強会の内容
地元説明会 (5 地区)	平成 21 年 11 月 11 日 平成 21 年 11 月 12 日 平成 21 年 11 月 13 日 平成 21 年 12 月 4 日 平成 21 年 12 月 12 日	・まちづくり構想の説明 ・まちづくり勉強会の説明
第 1 回	平成 21 年 12 月 21 日	・アンケート調査票の意見交換 ・先進地視察の候補地の意見交換
第 2 回	平成 22 年 1 月 27 日	・先進地の視察（名鉄布袋駅）
第 3 回	平成 22 年 3 月 19 日	・アンケートの結果報告 ・今後の勉強会の進め方の意見交換
第 4 回	平成 22 年 7 月 27 日	・まちづくりの目標・将来像の検討
第 5 回	平成 22 年 9 月 24 日	・まち歩きの実施 ・現地の問題点、課題の把握
第 6 回	平成 22 年 11 月 30 日	・整備手法の勉強会
第 7 回	平成 23 年 2 月 17 日	・まちづくりの目標・将来像の設定
第 8 回	平成 23 年 7 月 14 日	・ゾーニングの検討
第 9 回	平成 23 年 9 月 15 日	・豊山西春線の道路の機能の整理 ・駅前広場の機能の整理
第 10 回	平成 23 年 11 月 22 日	・高架下の利用方法
第 11 回	平成 24 年 1 月 25 日	・駅前広場の機能の整理 ・ゾーニングの検討
第 12 回	平成 24 年 3 月 16 日	・まちづくり概略計画